



福岡市立総合西市民プールのメインプールにて(左から奥村伸一会長、奥村伸弘社長、荒木頭取)



福岡中央銀行

確かな実績と提案力を持った
設備管理のプロフェッショナル集団。

玄海興業株式会社
玄海興業ビル管理株式会社
株式会社

代表取締役社長
奥村伸弘氏
おくむらのひろ

取引店／福岡中央銀行七隈支店
福岡銀行西新町支店

■会社概要

【玄海興業 株式会社】

設立:1976年／所在地:福岡市早良区／資本金:
2,000万円／従業員:64名(2025年5月現在、
パート・アルバイト含む)／事業内容:設備管理
業務(官公庁)、不動産業務

【玄海興業ビル管理 株式会社】

設立:2022年／所在地:福岡市早良区／資本金:
1,000万円／従業員:31名(2025年5月現在、パート含む)／事業
内容:民間ビルメンテナンス業務(清掃、消防設備点検、貯水槽清掃)

会社ホームページは
こちらからどうぞ！





奥村伸弘社長



奥村伸一会長

きめ細かなメンテナンスと実績に基づく確かな提案力

私自身は当初、家業を継ぐ気持ちはなく、大学進学後、大手不動産会社に就職しました。しかし、父の病気をきっかけに2004年10月、29歳で玄海興業に戻ることに。不動産の知識はあっても、メンテナンス業務はまったく

下水道普及を機に 公共施設の管理業務へ

玄海興業の設立は1976年。その前身は、祖父・奥村健蔵^{けんぞう}が戦後に創業した「西日本興業」^{にしにほんこうぎょう}です。同社はし尿収集運搬の会社としてスタートし、福岡市からの委託により、離島・玄界島でのし尿収集業務を手がけるようになりました。この業務を専門化するため、別会社として「玄海興業」を設立したのが始まりです。

業績は順調に推移しましたが、福岡市内の下水道普及率がほぼ100%に達したことで、玄界島以外の業務がすべて終了。他の福岡市の入札に参加を試み、必要な許可を取得するために社員一丸となつて資格取得などに取り組みました。

最初に委託を受けたのは、西区西の丘にある福岡市立総合西市民プールです。特殊な施設の管理に戸惑いもありましたが、現場での教育を徹底しながら、着実に実績を積み重ねていきました。

民間のビル管理にも進出 1,100棟の物件を担当

その後は、早良区原の雨水ポンプ場、博多区の月隈パークゴルフ場、早良区百道の防災センターなど、多くの公共施設の維持・管理を受託しています。例えば、月隈パークゴルフ場では植栽管理も含まれ、施設ごとに業務内容が大きく異なる中、責任を持って対応してきました。

現会長である父・奥村伸一^{しんいち}の代には、民間のビルやマンションにおける清掃、消防設備点検、貯水槽清掃などを行うビルメンテナンス事業にも進出。実績ゼロからのスタートでしたが、管理会社に足しげく通い、信頼を積み重ねました。

現在では、福岡市を中心に、東は宗像市、南は筑紫野市、西は糸島市までエリアを拡大し、約1,100棟の物件を担当しています。さらに、ビルメンテナンス事業部門の成長を受け、2022年4月には「玄海興業ビル管理 株式会社」として分社化しました。

の未経験。現場での実務を経て、次第に對外業務を任されるようになり、2014年5月、39歳で代表取締役役に就任しました。

当社が信頼される理由は、「きめ細かなメンテナンスと迅速な対応」そして何より「提案力」にあると考えています。

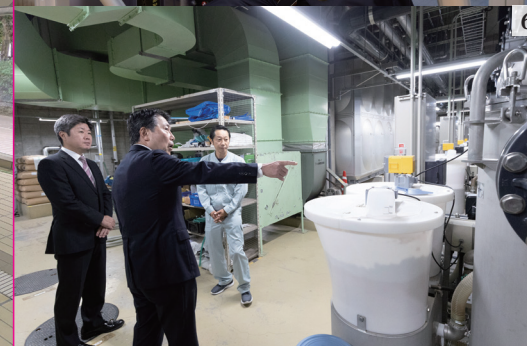
例えば、お見積もり依頼をいただいた際には、単に金額を提示するだけでなく、「もっとこうした方が良いのでは？」という別案も提案。実際、10日に1回のメンテナンス依頼に対して「週1回」のご提案をし、清潔感の維持やクレーム減少といった効果を訴求しています。また、多数の物件を担当している強みを活かし、エリア別に作業日を統一することで、作業効率化と経費削減を実現しています。

資格取得をバックアップ 労働基準の徹底を

現在、最も重視しているのは人材の確保と育成です。新入社員はまず現場スタッフとしてスタートし、先輩からの指導を受けながら実務を習得。現場を知ること、「こうした方が良い」という提案ができる人材へと成長してもらいたいと考えています。



1.対談風景／2.機械制御を行うコントロール室を見学／3.サブプールの監視室／4.子どもが利用するサブプールは観覧席を設けているので保護者も安心／5.トレーニングルームも完備／6.地下のろ過装置を見学／7.サブプールにて床洗浄機を使った清掃の様子／8.メインプール水質検査の様子／9.屋上空調機器点検／10.地下ろ過装置の点検／11.企業メッセージ



〈新社屋建設中〉2026年2月竣工予定



1.新社屋外観(イメージパース)／2.新社屋1F事務スペース(イメージパース)／3.新社屋2F事務スペース(イメージパース)



地鎮祭【各社代表】

- ・上村建設株式会社 上村英輔社長(前列右から3番目)
- ・福岡中央銀行 高田洋副頭取(前列左から2番目)
- ・福岡銀行 松岡康治福岡地区本部副本部長(後列右から3番目)
- ・ユーライフホーム株式会社 池田誠一郎社長(後列右から4番目)
- ・玄海興業株式会社 奥村伸一会長(前列左から3番目)
- ・玄海興業株式会社 奥村伸弘社長(前列右から4番目)

が実施され、その間当社も一時受託中止となりました。30名以上の社員が関わっていた業務でしたが、解雇することなく再受託を目指して尽力。無事、改修後も再び業務を請け負えることとなり、安堵しています。

2025年度からは、福岡市が小学校のプール授業を民間に委託する方針を発表。総合西市民プールでも水泳授業を実施しており、学校教育の場としての役割が期待されているため、これまで以上に安全管理の徹底が求められます。

2026年には、玄海興業の設立から50年を

迎えます。それに先立ち、福岡市早良区有田に新社屋の建設を予定しています。これまで点在していた事務所機能を集約し、約200坪の敷地に広々とした駐車スペースを確保。竣工は2026年2月、稼働は同年6月を予定しています。

若い世代が快適に働ける内装設備(カフェテリアスペースと設置型社食)を整え、ビルメンテナンス業界においても魅力的な職場環境を目指しています。働く環境を整えることが、人材確保と企業成長の鍵であると確信しています。

■ インタビューを終えて

福岡中央銀行 取締役頭取 荒木 英二



当社は福岡市立総合西市民プールをはじめとした公共施設管理、民間ビル・マンション管理において、確かな実績と信頼を築いてこられました。

当行とも長きにわたりお付き合いをいただいております。2026年6月稼働予定の新社屋建設に際しても、支援させていただいております。新社屋は快適なオフィス環境を備えるとのこと。人材不足が課題となる業界において、若い世代が魅力を感じられる職場となることを期待しております。

今後ますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。



福岡市立総合西市民プールにて。前列左2人目から奥村伸一会長、奥村伸弘社長、荒木頭取、高田支店長(福岡中央銀行)

さらに、向上心のある社員には会社が資格取得を全面的に支援(受験・講座受講費用全額会社負担)し、資格手当も支給。働きやすい職場環境の整備にも注力し、私傷病入院自己負担額の会社負担と週休2日制の導入、夜勤・残業の削減も推進しています。

また、社員が独立して設立した協力会社との連携を強化し、ファミリー的な関係性で共に業務に取り組んでいます。当社は福岡市から業務を受託している立場として、労働基準の厳守にも強い責任を持って取り組んでいます。

創立50年に向けて 総合西市民プールの業務拡大 新社屋の建設も進行中

福岡市立総合西市民プールは、2023年の世界マスターズ水泳選手権2023九州大会の会場に選ばれたことにより、大規模改修工事



福岡中央銀行保証付「SDGs私募債」を発行(贈呈式の様子)